

科学研究費補助金（学術創成研究費）事後評価結果

課題番号	16GS0307	研究期間	平成16年度～平成20年度
研究課題名	生体パターン形成原理の実験的ならびに数理解析的解明		
研究代表者名 (所属・職)	近藤 滋（大阪大学・大学院生命機能研究科・教授）		

【平成22年度 事後評価結果】

該当欄		評価基準
	A+	期待以上の研究の進展があった
○	A	期待どおり研究が進展した
	B	期待したほどではなかったが、一応の進展があった
	C	十分な進展があったとは言い難い
（評価意見）		
<p>本研究は皮層模様のパターン形成原理を明らかにしようとする理論的・実験的研究であり、当該分野をリードする研究として注目されている。</p> <p>理論的には分子の反応拡散波を基盤としたシミュレーションにより、正常個体や突然変異体の全ての縞模様を再現することに成功した。一方、実験的にはゼブラフィッシュの模様形成に関わる2つの遺伝子を同定し、理論及び実験的研究の統合によるパターン形成原理解明に大きく前進した。学術創成研究費として、理論、実験の融合を目指す新学問領域の発展に貢献しており、全体として期待どおり研究が進展したと判断される。</p> <p>また、研究成果の公表普及に努めていることも伺える。</p>		